

アフエレーシスについてのご説明

【アフエレーシスについて】

- ・アフエレーシスとは成分採血のことです。
- ・血液成分分離装置を使用して、血液成分の一部である単核球や血漿を濃縮して採取します。

【目 的】

- ・樹状細胞の元になる単球を大量に採取することで、より高い治療効果が期待されます。
- ・治療に必要な成分のみを必要な量だけ採取します。
- ・1回のアフエレーシスで4~6回分の樹状細胞ワクチンが出来上がります。
- ・ミニアフエレーシスとして、1~2回分の樹状細胞ワクチンを作るための、採血量を減らした負担の少ない方法も可能です。

【方 法】

- ・アフエレーシスの所要時間は2~4時間程度、ミニアフエレーシスの所要時間は1時間程度です。
- ・静脈に針を刺し、単核球のみ採血し、それ以外の血液成分を体内に戻します。
- ・アフエレーシスの前後および施行中は適宜血圧測定などを行います。

【起こりうる副作用】

- ・採取のための血管確保に関すること
なるべく太い静脈に、やや太めの注射針が穿刺されます。通常の採血と同様に皮下出血などが生じることがあります。
- ・採取中に関連すること
採取中の副作用として、全身倦怠感、手足のしびれ、および血管迷走神経反射に伴うめまい、吐き気、嘔吐、脈拍の変化、血圧低下などがみられることがあります。血管迷走神経反射とはベッド上で拘束されるストレス、不安などが原因となる自律神経を介した症状です。手足のしびれは、採取中に分離装置内を循環する血液が固まらないようにするために用いる薬剤(クエン酸)によります。また、きわめて稀なことですが、血管迷走神経反射によると考えられる一過性の心停止が発生した方がわが国で1件報告(日本輸血学会より)されています。幸い迅速な処置により回復し、後遺症無く社会復帰されています。
- ・採取後に関連すること
単核球や血漿の採取に伴い血小板も一部採取されるため血小板の数が一時的に10%程度低下することが報告されていますが、およそ2週間で元の血小板数に復帰していきます。また気分が悪い、ふらつきがある場合などには、実施医師の判断で、帰途の安全のために一定時間休んでいただいてからのご帰宅になります。

【中止について】

- ・次のような場合には中止することがあります。
 - ①適切な血管確保が不可能な場合
 - ②必要量の採血が不可能な場合
 - ③副作用が出現し持続する場合
- ※中止となった場合には、再度日を改めてアフエレーシスを実施するか、1回分の樹状細胞ワクチン治療用に100ml程度の採血を実施することがあります。

【アフエレーシス当日のお願い】

- 十分な睡眠をとり、体調を整えてください。
- 空腹や大食は避けてください。
- きつい衣服は避けてください。院内で着替えもできます。
- 施行前にお手洗いを済ませてください。
- ご家族の付き添いをお願いいたします。
- お帰りの時はご本人による自動車などの運転は控えてください。
- 内服中の薬などは通常通り服用してください。
- 不安やご希望があればお気軽にお伝えください。

【採血後の注意点】

- ・内出血を予防する為に、針跡をもんだり、こすったりしないでください。
- ・当日中は腕に強く力を入れたり重いものを持ったりしないでください。
- ・水分を十分補給してください。
- ・以下の症状がある場合にはご連絡ください。
(採血部位の強い腫れ・痛みの強い内出血・胸に痛みやしびれがある・気分が悪いなど)

アフエレーシス 実施 同意書

私は、医師_____よりアフエレーシスに関する十分な説明を受け、上記の事項についても了解の上でアフエレーシスを受けます。

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

リセリングクリニック 院長:久保 青美 殿

本 _____ 人: _____ 印

代理人(続丙; _____) : _____ 印